

令和8年度 第1回学校関係者評価委員会 報告

- 1 日時 令和8年6月19日（金） 15：20～16：10
- 2 場所 本校会議室
- 3 出席者 外部評価委員3名，本校評価委員9名 計12名
- 4 日程等
 1. 委嘱状交付
 2. 学校長挨拶及び経営方針等
 3. 本校の概要説明（各部，各学年から）
 4. 協議「学校活性化に向けて」
- 5 協議内容（○外部評価委員から ●本校評価委員から）
 - ① 学習環境とクラス編成について
 - 3年生のクラス編成について、専門学校進学希望者と大学進学希望者が混ざっていると思うが、温度差はないか。PTAからも「どちらの邪魔にもならないような進め方ができないか」という声が上がっているが、どのような対応を考えているか。
 - 授業の多くは習熟度別・コース別で実施しているため心配はない。専門学校や推薦などで早めに進路が決定する生徒も出てくるため、その都度様子は把握し対応していくように考えている。
 - ② 私立高校無償化の影響と公立のメリットについて
 - 令和8年度から私立高校の授業料実質無償化が始まったと聞いている。1年生が過去2年に比べ5人減少しているが、要因はどう考えているか。近隣の私立はバスを走らせ通学の便が良く、親としては無償化であれば遠くの私立も選択肢に入るのではないか。
 - 私立の無償化（上限約45.7万円）と言っても、鹿児島県の私立授業料は全国的に高く、差額やその他の費用などは保護者負担となる。一方、公立は授業料（11万8800円）が完全にゼロである。この「公立は確実にゼロである」というアナウンスも必要かもしれない。
 - 地元である本校に通うことの時間のメリット（通学時間の短縮）をもっとアナウンスし、生徒募集に繋げたい。
 - ③ 入試日程と制度について
 - 私立の合格が先に決まってしまうため、公立入試まで勉強を続けたくないという子もいる。公立の入試をもっと早めることはできないか。
 - 入試の日程は県が検討することではあるが、推薦入試の時期に一般入試のような形を持つてくるなど、他県ではいろいろな選抜方法もある。本校としては、自己推薦の活用や推薦枠の拡大など、工夫しながら生徒募集を進めたい。

④ 生徒の動向と志向について

○中学生に聞くと「制服が可愛いから南高校に行きたい」といった単純な理由で選ぶ子もいる。もっと本校の存在が中学生の目に触れる機会を増やしてほしい。また、今年の卒業生が鹿児島県外の大学を多く受けている理由はあるか。

●今年の卒業生は非常に上昇志向が強く、担任も驚くほど課題に積極的に取り組んでいた。

○地元の友人関係を一度リセットして、新しい環境で新しい人たちと学びたいという考えを持つ生徒も一定数いるようだ。

⑤ タブレットの活用とオンライン授業について

○小中学校はタブレットが無償配布だが、高校はどうか。活用の現状や、J Rが止まった際などのオンライン授業の対応について聞きたい。

●これまでは2年生進級時に購入していたが、次年度の新入生からは入学時に購入する形に変わる。生活困窮世帯などには学校所有の端末を貸し出している。活用の現状としては、テストの返却や解答配信、授業内での活用を行っている。また、現時点では、休校などの際に即座にライブ配信授業を行うまでの準備は整っていないが、自習課題を配信して対応する教員もいる。

⑥ 授業時数の確保について

○J Rが頻繁に止まって休校が増えた場合、授業時数は足りるのか。夏休みを削るなどの対応はあるか。

●数年前に休校が多すぎた際は夏休みを削って授業日にしたこともある。標準の授業時数に対して多少の余裕はあるため、数日の休校であれば補充なしでも問題ない範囲で調整している。